

厚生経済学(2)

社会的選択

効率性を超えた判断基準は？

効率と公平のトレードオフをどのように考えるのか？

社会的無差別曲線

功利主義

効用の個人間比較

補償原理

社会的厚生関数

ロールズ主義

貧困ギャップ

パレート効率的な資源配分は一意には定まらない。パレート効率的な資源配分からどれを選ぶか？

このような状況では、効率と公平のトレードオフが発生することが多い。

例: クルーソーとフライデーがオレンジを消費する経済

・当初の配分: クルーソーが10個, フライデーが2個

・これはどうも不平等だ。そこで再分配政策をとって, クルーソーのオレンジ4個をフライデーに移転する。

・ところが, 再分配政策の過程でオレンジ1個が失われる。

・結果: クルーソーが6個, フライデーが5個

・不平等は減少したが, 効率[利用可能なオレンジの総量]は低下した

- ・パレート効率的な点の集合からの選択は、効率と公平に関する価値判断にゆだねられる。そのような価値判断は、社会的厚生関数ないし社会的無差別曲線によって示される。
- ・社会的無差別曲線を考えることは、効用の個人間比較をおこなっていることに等しい。
- ・クルーソーとフライデーの幸せを天秤にかけられるか？

効用の個人間比較についての考え方は時代によって変化してきた

- ・旧厚生経済学（ピグー）
効用の個人間比較をおこなう
功利主義
- ・新厚生経済学（ロビンズ）
効用の個人間比較を避ける
パレート原理，補償原理
- ・不可能性定理（アロー）
効用の個人間比較を避けると，社会的選択は著しく困難になる

社会的厚生関数

$$W = W(u_1, \dots, u_N)$$

功利主義的 (utilitarian, Benthamite)

$$W = \sum_i u_i$$

ロールズの (Rawlsian)

$$W = \min_i u_i$$

功利主義

- ・富裕者の効用1単位の上昇と貧困者の効用1単位の低下に無差別。
- ・分配を考慮の対象外にしている, 貧困層を重く評価すべきではないか, との批判がされている。
- ・所得と効用の違いに注意が必要。功利主義のもとでも所得の完全平等が望ましくなることがある。

$$u' > 0, \quad u'' < 0 \text{ (限界効用逓減)}$$

$$\max W = \sum_i u_i(x_i) \quad \text{subject to } \sum_i x_i = \bar{X}$$

$$u'_i(x_i) = u'_j(x_j) \quad \begin{array}{l} \text{所得の限界効用がすべての個人で等しくなる。} \\ x_i = x_j \quad \text{個人の効用関数が同一の場合, 所得の完全} \\ \text{平等となる。} \end{array}$$

不平等を図る尺度

・ローレンツ曲線

横軸に, 所得下位X%

縦軸に, 所得下位X%の所得総額 / 全人口の所得

・ジニ係数

45度線とローレンツ曲線の間の面積の2倍

・貧困指標

貧困線 (poverty line)

実務的には, 生活保護基準

貧困率 (poverty rate), 保護率

生活保護受給者 / 人口

貧困ギャップ

すべての人を貧困線以上にするのに必要な所得総額

社会的選択の実際

- ・パレート改善かどうかを確認する。
- ・状況が改善する時と悪化する人がいる場合、それぞれのグループ、およびグループの利得と損失を確認する（経済学の出番！）。
- ・総純便益が正となるかどうかを確かめる（補償原理）。
- ・効率の尺度と不平等の尺度の変化を調べ、そのトレードオフを評価する。
- ・社会的厚生関数にしたがって、貧困者層の利得や損失を富裕者層よりも大きくウェイト付けして、加重純便益を計算する。

【章末問題】

- 7 ある人が脚を失う事故に遭った場合を考えてみよう。
- (a.1) その事故によって、彼の効用水準はあらゆる所得で低下するが、（各所得水準での）限界効用はほんの少しであるが上昇すると仮定しよう。事故に遭う前と後の効用関数を図示しなさい。
 - (a.2) もしあなたが功利主義者であるならば、事故後には彼にもっと所得を与えようとすることを示しなさい。
 - (a.3) しかしそうした所得移転をおこなった後でも、事故に遭った人はそれ以前よりも効用が低くなることを示しなさい。（例示であって、証明ではない）
 - (a.4) またロールズ主義者が提供する補償を示しなさい。
 - (b) 功利主義者のほうがロールズ主義者よりも、事故に遭った個人に多くの所得を与えようとするのだろうか。
 - (c) 功利主義者は、どのような状況では事故に遭った個人に何も与えようとしなのだろうか。

【章末問題】

9

あなたたちが乗っていた船が難破したとしよう。あなた方10人は救命ボートに乗っている。海岸にたどり着くまでに10日かかるが、10食分の食料しかないことを知っている(その食料は1人が生き延びるために必要とされる最低の量である)。

[問題に追加: 海岸にたどりつくまでの10日間に死ぬ場合は、いつ死んでも無差別であると仮定する。]

- (a) 功利主義者はその食料をどのように配分するだろうか。
- (b) ロールズ主義者はどうだろうか。
- (c) ロールズ主義者でさえ完全な平等主義者でないと考える人もいる。極端な平等主義者はどのように主張するだろうか。
- (d) パレート効率を実現するためにはどのようなことが要求されるだろうか。

【同種の問題】

心臓移植を受けないと助からない患者が4名いる。1名の脳死患者から心臓の提供があったとき、どのような選択をおこなうか。臓器の免疫適合については、4人は同条件であると仮定する。